



モスクワ日本人学校

しらかば

第2号

モスクワ日本人学校
一人一人が輝く学校
笑顔あふれる学校

児童生徒数 96名

(E-mail)

school@mosnichi.com

(URL)

<http://www.mosnichi.com>

伸びる芽

休日、買い物の中で見付けた蕾がぐつと膨らんでいます。人間世界の混乱を他所に、季節は変わらさずめぐってきます。少しふくらみかけた蕾が、そんな当たり前のことを教えてくれているように思います。

オンライン学習が始まって一月。目を輝かせて学習に臨む子どもたちの姿は、長岡文雄（初代奈良女子大学附属小学校副校長）の言葉と重なります。…満員の電車の中、となりに一歳未満の子どもを抱いた女の人が立っていた。その幼児は、盛んに手を振り上げている。ぶらついている吊り輪を指している。一心である。もう一歩のところまで吊り輪はにげて揺れる。幼児は体を乗り出す。伸ばし切った手先がふるえる。私は揺れる吊り輪を、そっと、幼児の手に触れさせてやった。幼児は、これをぎゅっとなつかんだ。そして、私の顔を見てにっこりと微笑んだ。

わかるんだなあ。満足そうなおその微笑。幼児は、その吊り輪が手に入ると、今度は、私の持っている吊り輪を指してきた。生きている。生きる命がここにある。

（子どもを育てる筋道）

長岡は、伸ばし切った手先がふるえる状況を見て取り、絶妙のタイミングで吊り輪をそっと指先にふれさせてやりました。それは、単に子どもも好きな人が、安直に子どもを手助けをしたのではありません。そこには、愛情をもって子どもの状況を見取ることによって成立する確かな指導があります。

試行錯誤のオンライン学習が続いています。支援する側も参加する側も、もどかしさを感じながらの学習です。ですが、保護者の皆様の温かい眼差しに見守られ、仲間存在に支えられ、子どもたちが自身の伸びる芽を膨らませていることも事実です。大切にしたいことです。

校長 石川 賢